

平成 24 年度 動物園学実験実習／野生生物フィールド実習 シラバス

授業科目名	動物園学実験実習 (Laboratory Work and Field Trip for Zoo Biology)					野生生物フィールド実習 (Field Trip for Wildlife Study)				
授業担当者	楠田哲士（応用生物科学部）					二宮 茂，松村秀一，岩澤 淳，山本謙也，楠田哲士（応用生物科学部）				
開講時期	3 年前学期	単位数	1	授業形態	講義・実験・実習	3 年前学期	単位数	2	授業形態	講義・実習
授業概要	動物園（水族館も含む）では，野生動物を飼育展示するだけでなく，保全センターとして絶滅危惧動物の種の保存や調査研究が行われている。また，博物館として様々な教育研究用標本の作製・保存とその活用が図られている。本実験実習では，動物園における野生動物の飼育管理や繁殖管理に必須となっている実験手技や，貴重な標本の作製・保存法を習得し，動物園でそれらの技術がなぜ必要か，いかに活かされているのかについて解説する。					野生生物の調査研究は，野外でのフィールド調査の他，採集した生物を飼育して行う研究や専門の飼育施設と連携して行われる研究もある。また，生体から採取した各種試料や派生物を扱う実験室内での科学実験も含まれる。本実習では，野生生物の研究フィールドを訪問し，実物の研究対象生物やその生息環境・飼育環境を理解し，現場での動物観察法や調査研究手法，研究材料の採取法等を学ぶと共に，実際にデータを収集し解析するまでの一連の知識と技術を学ぶことを目的とする。				
到達目標	動物園での調査研究や標本保存の意義について体得する。					野生生物のフィールド研究に必要な基礎知識と手技手法を体得する。				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 動物標本の作製とその意義Ⅰ 3. 動物標本の作製とその意義Ⅱ 4. 動物標本の展示と展示解説，動物の展示解説板の制作 5. 動物園動物の飼育管理のためのホルモン分析と DNA 分析 6. 動物園動物の飼育管理法と施設見学（よこはま動物園ズーラシア） 7. 動物園研究センターの研究例と施設見学（横浜市繁殖センター） 					<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物の行動観察法と記録法（担当：二宮） 2. 飼育下野生動物の行動観察と環境エンリッチメント例（名古屋市東山動物園）（担当：二宮） 3. 野生動物の行動調査（京都嵐山モンキーパークいわたやま）（担当：松村） 4. 野生動物の行動調査データの解析（担当：松村） 5. 哺乳動物の毛色表現型の観察に基づく集団遺伝学的調査（担当：松村，岩澤） 6. 水棲生物の形態と行動観察（名古屋港水族館）（担当：山本，岩澤） 7. 外来水棲生物の捕獲と実態調査（岐阜大学周辺）（担当：楠田） 				
テキスト	資料を適宜配布する。									
成績評価	レポート内容と取り組み姿勢による総合評価									
参考図書	動物園学（文永堂出版），各種生物図鑑									
その他	動物園学実験実習と野生生物フィールド実習はセットで開講する。両実習は，動物園学，野生動物保全科学，応用動物行動学の実地編または実践編であるため，必ずこれらの講義とあわせて受講すること。学外実習費を徴収する場合がある。									